



2010年2月15日  
号外(福井県版)  
民主党プレス民主編集部  
〒100-0014  
東京都千代田区永田町1-11-1  
電話03-3595-9988(代表)  
press@dpj.or.jp  
http://www.dpj.or.jp  
民主党福井県総支部連合会  
福井市大手2-15-6  
TEL:0776-21-0777

# 明日の日本 生活が第一

## 参院選福井の候補者に

こうた

# いのべ航太氏を公認申請

民主党福井県総支部連合会は、大野市にゆかりのある、いのべ航太(こうた)氏(35才)を本年7月に行われる参議院選挙の候補者として擁立することを決定。党本部に公認申請を行った。

### 小沢幹事長と記者会見

1月18日には、小沢一郎幹事長が福井入りし、いのべ氏とともに記者会見を行い、「福井県連として参議院の通常選挙に井ノ部航太君を候補者として推薦いただいた」と述べ、「大変いい候補者を選んでいただいたと思っている。本部においていずれ公認の手続きをしたい」と発表した。

いのべ氏の父親は大野市の出身で、福井県下には親類縁者の多いことにも幹事長はふれ、「そういう意味でも福井のことを十分に承知している。また、東京での新しい知識と経験を持っているので、その意味でも大変立派な候補者であると本部も考えている」と紹介。

### 県内全ての皆様にお会いしたい

挨拶に立ったいのべ氏は「97才になる祖母も健在。幼少のころから福井に幾度となく足を運び、自然の美しさや人々の温かさを感じて育ってきた。この度、参議院選挙に向けて民主党候補として頑張れることに緊張とやりがいを感じている」と力強く表明。自民党の候補と比べて知名度はないが「とにかく歩いて歩いて、県内の皆様に顔を知っていただいて、若い力と志をしっかりと訴えさせていただきたい」と、今後にかける思いを語った。

また、地域に暮らす人のための政治が実現するよう、地域主権の確立に尽力していきたいとの考えを表明した。



## 全力で頑張ってもらいたい

07年の参院選と昨年の衆院選で与党が自民党に全敗しているのは全国で福井だけ、その福井県選挙区で、保守の強い福井でどう戦うか問われた小沢幹事長は、「川上の縁が非常に深いので、川上から、そして自分の地縁血縁の強いところから歩きながら一人でも多くの方に理解をもとめるしかない。幸い若いし、決まった以上は全力でがんばってもらいたい」と、多くの皆さんの声を聞き、国政に届けるという基本に沿って力を尽くすようエールを送った。



小沢幹事長らとともに記者会見（1月18日・福井市）



老人介護施設を訪問する（1月28日・坂井市）

柔軟な頭脳を発揮するのはまさに今であり、そのためにも7月の参議院選挙は絶対に負けられない戦いだ」と力強く述べた。

県連代表の松宮勲衆院議員は「低迷する日本経済を目の当たりにして、この国の形を変え、多くの働く人の立場、そして日本経済を支える、圧倒的大多数の地域の、中小企業の、地場産業の立場に立って大きな政策の大転換を図らなければならないと訴えての政権交代であった」と振り返り、「政権党として、衆参で過半数を持つことは政策を実行する上においても大事なこと。

7月の選挙には、総力を挙げて取り組む」と、福井県連として不退転の覚悟で臨むことを表明した。

## いのべ氏はすでに活動開始

小沢幹事長との会見を終えたいのべ氏は、すでに活動を開始している。参議院選挙の選挙区は福井県下全域であるため、県内すべての地域をまわるスケジュールを連日精力的にこなしている。いのべ氏は「地域を歩くと、閉塞感を持って暮らしている皆さんの切実な声が聞こえてくる。10年後、20年後に福井が活気があって、住みよい地域であるためには、若い力が必要だという想いをよりいっそう高めている」とし、「地域の暮らしは待たなしの危機的状況だ。農林水産業、地場産業、中小企業の支援はスピーディーに実行していかななくてはならない。若い行動力と、



野田幹事長主催の新年の集いに登壇（2月8日・福井市）

## いのべ航太氏プロフィール

- 1974年6月20日生まれの35才。麻布高校卒業（軟式テニス部）
- 慶應義塾大学法学部政治学科卒業（大学1年生の時に、細川政権が誕生。これまでの閉塞感を壊すような若い政治家が多く登場したことで、遠いと思っていた政治の世界が急速に近づき、志を立てた。）
- 元（株）電通勤務